

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

PCR検査体制の確立については

県と医師会で調整が進められており、市は側面から協力している



廣中 清介
無派不撓クラブ

田原市における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について



- 問** 新型コロナウイルス感染症患者発生への対応は。
- 答** 法律（※）により、患者への対応、情報管理などは県や保健所設置市が行うことになっているため、本市は豊川保健所や関係機関と連携し、感染予防のための啓発を中心に取り組んでいる。本市では患者の人権を守る落ち着いた対応と感染防止への協力を呼びかける市長メッセージの発出、相談体制の強化、防災無線や市のホームページなどでの感染防止の啓発を行った。

- 問** 啓発事業と医療体制の現状と課題は。
- 答** 啓発事業では、感染防止対策に関する情報発信に加え、高齢者や基礎疾患のある方への配慮、人権尊重と風評被害の防止、接触確認アプリCOCOAの活用などを呼びかけているが、市民自身の意識や行動の変容による官民一体の感染症対策の推進を図ることが課題。医療体制は、豊川保健所が主体となって整備に取り組んでおり、現在のところ逼迫した状況ではないと聞いているが、今後インフルエンザの流行も予想され、医療体制をいかに維持継続するかが課題と考えている。

- 問** 国はインフルエンザ予防接種の高齢者への優先接種の方針を示したが、これに対する市の考えは。
- 答** 10月から接種できるよう医師会と調整した。早めの接種の必要性を広報紙などで啓発していく。
- 問** PCR検査体制の確立について、国・県と連携して推進することが必要ではないか。
- 答** 診療所での唾液によるPCR検査体制の整備について、県と医師会で調整が進められており、市はその連携や調整に側面から協力している。



※ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」